

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第2回所沢市上下水道事業運営審議会	
開 催 日 時	令和5年8月3日(木) 午前10時00分から午前11時30分まで	
開 催 場 所	上下水道局庁舎3階 大会議室	
出 席 者 の 氏 名	越阪部 眞、小澤 峰子、金子 修三、北野 大、小西 綾子、 永井 儀男、西村 めぐみ、本田 静香(50音順)	
欠 席 者 の 氏 名		
説 明 者 の 職 ・ 氏 名		
議 題	(1)今後の市街化調整区域の下水道整備方針について (2)その他	
会 議 資 料	資料1 今後の市街化調整区域の下水道整備方針について 資料2 用語集 資料3 令和5年度上下水道事業運営審議会開催日程(案)	
担 当 部 課 名	上下水道事業管理者 平田 仁 上下水道局長 磯 稔 上下水道局次長 根岸 清 上下水道局給水管理担当参事 村田 孝之 上下水道局総務課長 山下 哲 上下水道局経営課長 草薨 秀夫 上下水道局窓口サービス課長 粕谷 明彦 上下水道局水道建設課長 古澤 祐晴 上下水道局下水道整備課長 村上 和雄 上下水道局下水道維持課長 坂野 浩明 上下水道局下水道整備課主査 田村 真一 上下水道局下水道整備課主任 湯本 裕樹 上下水道局下水道整備課主任 杉山 捷 上下水道局下水道整備課主任 水出 幸 (事務局) 上下水道局経営課副主幹 田井 浩介 上下水道局経営課主査 越阪部 那佳子 上下水道局経営課主任 水原 史貴 上下水道局経営課主事 辻岡 友梨子 上下水道局経営課主事 久保 未来音 上下水道局経営課主事 中村 桃子 電話 04(2921)1087	

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>会長</p> <p>下水道整備課主任</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <p>2. 委嘱状の交付</p> <p>3. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ（平田管理者） ・各委員自己紹介 ・上下水道局職員自己紹介 ・会議資料の確認 ・出席状況の確認・会議の成立の報告 ・会長・副会長の選出 <ul style="list-style-type: none"> 【会長】・・・北野委員 【副会長】・・・金子委員 ・会長・副会長あいさつ ・諮問書の受け渡し <p>4. 議事の手続き（北野会長により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新委員の委嘱があったため、事務局より以下3点について説明 <ul style="list-style-type: none"> （1）会議の公開：原則公開 （2）会議録の作成方法：委員名記載の要約方式 （公開時は委員名を記載せず「委員」とする） （3）会議録の確定方法：会長の確認・署名により確定 ・傍聴希望者の確認（希望者1名） <p>5. 議事（北野会長により進行）</p> <p>議事（1）について説明していただきたい。</p> <p>（資料1の9ページまで説明。） ここまでの部分で質疑応答を行うこととする。</p> <p>（以下、質疑応答）</p> <p>話をまとめると、今後、市街化調整区域に下水道を整備するにあたり、下水道を布設する場合と、各家庭の合併浄化槽の処理水の放出先の整備を進めていく場合と、どちらの費用が少なく済むかを比較し、方針を決めていくという考え方である。</p> <p>当初の費用で考えた際に、下水道を整備した場合の方が優位だったとし</p>

下水道整備課主査	<p>でも、利用者からするとその後の下水道使用料に係る費用負担については、発生するという認識で間違いないか？</p> <p>そのとおりである。下水道に接続すれば、下水道使用料が個人負担としてかかる。</p>
委員	<p>下水道整備により生活環境が改善することから、費用負担を求めるということである。</p>
委員	<p>経済合理性だけではなく、浸水対策や水環境改善など、合併浄化槽ではできない役割が公共下水道にはあるため、地域住民の意見もあると思うが、単純な費用比較だけでいいのか検討する必要がある。</p> <p>(質疑応答ここまで)</p>
下水道整備課主任	<p>(引き続き、資料1の10ページ以降について説明。)</p> <p>(以下、質疑応答)</p>
委員	<p>アンケート調査の内容について伺いたい。下水道が整備された場合すぐ接続を希望するのかという設問だけだったのか？合併浄化槽から、下水道になった時のメリット・デメリット等は説明していたのか？</p>
下水道整備課主査	<p>アンケート調査については、市街化調整区域で下水道整備がされていない家屋を対象に実施した。主な設問は、現状の生活排水の処理状況に関するものや今後の汚水処理の意向に関するもの等である。また、下水道へ接続する場合は、受益者負担金や下水道使用料、宅内の浄化槽改造費用がかかる旨は記載している。</p>
委員	<p>利用者が判断できるような情報を示しているという認識で間違いないか。</p>
下水道整備課主査	<p>はい。費用負担の説明や用語解説等もつけ、市民にもわかりやすいアンケート調査を実施したと考えている。</p>
委員	<p>本当の意思を確認できるようなアンケートであったのか、客観的に判断ができるのか心配であった。市としては、十分説明を果たしているということであれば、住民は費用負担を考えた上でも、接続したいという希望が多かったという認識で間違いないか。</p>
下水道整備課主査	<p>そのように認識している。</p>

委員	<p>接続希望率が低い地域の中でも、どうしても下水道に接続したいという希望者はどうなるのか？パーセンテージだけで決めて良いものなのか？下水道は今後整備されないものなのか？</p>
下水道整備課主査	<p>整備方針としては、下水道整備と浄化槽処理水排出先整備の費用を比較し、下水道整備の方が優位であることと、下水道接続希望率が高いことの2本の軸を考えている。この考え方で進めた結果、次期整備計画の対象外となる地域もあるが、それらの地域の整備方針についても、今後、審議会でご審議いただきたいと考えている。</p>
委員	<p>下水道に接続する場合、利用者の費用負担も発生すると思う。情報提供の方法として、利用者には合併浄化槽を残すという選択肢も提示し、住民に選んでもらえるような進め方ができれば良いと感じた。</p>
委員	<p>合併浄化槽は生活排水の処理が基本であると思うが、例えば外で洗車等をした場合、その水はどこへ流れていくのか？</p>
上下水道局長	<p>所沢市の場合は、そのまま道路側溝に入り河川へ流れていくことになる。</p>
委員	<p>東京都の場合は、下水処理場へ流れていくことになると思う。合併浄化槽の場合は、このような機能は有しない。利用者が、このことをどのくらい理解しているのかは気になった。</p>
委員	<p>対象地域の抽出の仕方について、パブリックコメントにかけるということであるが、第1次計画で整備されなかった地域があるという課題については出されないという認識で、これらの地域の整備方針については、また別の機会に検討をするのか確認したい。</p>
下水道整備課主査	<p>第1次計画で下水道整備を行った地域の中には、家の目の前に下水管が布設されたものの、整備対象外になった家屋がある。具体的には、計画策定時に整備対象地域を町名・大字単位で分割し区域決定したため、道路を挟んで片側の家屋は整備対象、もう片側の家屋は整備対象外となった箇所が存在している。このような箇所については、市で整備するつもりである。この詳細については、次回の審議会でも説明を予定している。</p>
委員	<p>パブリックコメントの実施時期について、かなり早いのではないかと感じた。通常であれば、審議会でも意見をまとめた上で、パブリックコメントを実施していたように思うが、1回の審議で実施できるのか。そのあたりの市の考え方について説明を求めたい。</p>
上下水道局長	<p>議論が煮詰まり、この地域をやるやらないという地図が出来上がった上</p>

	<p>でパブリックコメントを実施してしまうと、自分の地域が入る入らないという議論になる可能性がある。市としては、限られた費用の中で実施するため、あくまで優先順位の考え方について、パブリックコメントを実施したい。今回整備対象外になったとしても、今後の整備の考え方については審議の対象としていく方針である。</p>
<p>委員</p>	<p>下水道整備を検討するブロック分けの説明が少し難しいと感じた。ブロック分けの考え方について説明を求めたい。県のガイドラインにも、下水道整備については合併浄化槽との費用比較や住民の要望等について検討を行い、進めていくように示しているのか。</p>
<p>下水道整備課主査</p>	<p>上位計画である「埼玉県生活排水処理施設整備構想」の見直しの際にマニュアルが示されており、それに倣い区域設定や費用比較を行っている。なお、埼玉県のマニュアルについても国のマニュアルに基づき作成されているので、国、県、市と連携したマニュアルを使用していると言える。</p> <p>市独自の方法としては、アンケートによる結果等を加味し、検討を重ねているところである。</p>
<p>委員</p>	<p>ブロック分けは県のマニュアルにあるということは分かったが、費用比較についても県のマニュアルに記載されているのか？</p>
<p>下水道整備課主査</p>	<p>費用比較についても県のマニュアルに記載されているが、より実態に近い費用を算出するために、市の実績単価を基に費用を算出している。</p>
<p>委員</p>	<p>整備方針については、費用比較とアンケート調査の2つの柱となる。費用比較については、県のマニュアルを基に市の経験や実績を加えて検討しているということは理解できた。アンケート調査は、ただ下水道に接続したいかどうかだけではなく、本当に住民の意向を反映しているか、費用負担についても理解を得られているか、慎重に進めていく必要があると考えている。この点についても、市の方では十分に説明をした上でアンケートを実施しているとのことであった。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケート調査だけで住民説明会の実施は無かったのか？</p>
<p>下水道整備課主査</p>	<p>現時点では実施していない。ご意見をいただく機会は、パブリックコメントを実施する予定であり、そこで意見を提出できると考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>住民説明会をした上でアンケートを実施するのが丁寧であると感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートと費用比較の2本柱でいくのであれば、住民説明会を実施し、理解を得た上でアンケート調査を実施することは可能なのか？</p>

委員	<p>住民説明は大変重要だが、大枠の考え方に対してのパブリックコメントであるとする。特定の地域や対象者に限った訳ではないのであれば、今回のパブリックコメントはこのまま実施し、そこで様々な意見が出てくると思うので、出てきた意見を参考に担当者の方で説明をする機会が必要かどうか判断をすることで良いのではないかと。</p> <p>(質疑応答はここまで)</p>
委員	<p>ここまでの議論を整理すると、考え方は、費用比較、アンケート結果の2本を柱とする。今回のパブリックコメントは、どの地域を整備するという具体的なものではなく、整備地域の選定の考え方、実施手順について諮ることとし、早期に実施する。この議論内容で進めて良いかと。</p> <p>(一同了承)</p>
会長	<p>これにて議題1は終了とする。続いて、議題2について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
経営課長	<p>2点報告をさせていただきたい。 (1点目は、資料3に基づき、今後の審議内容について説明。) (2点目は、今回の審議に対する質問・意見書について説明。)</p>
会長	<p>予定した議事は以上となり、本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。</p> <p>6. 閉会 (事務局により進行)</p>
委員	<p>閉会挨拶</p>